

特集

地域看護学と公衆衛生看護学 Part1

看護学生が学ぶ地域看護学再考

【座談会】いま地域看護学と公衆衛生看護学について考える

岡本玲子, 尾ノ井美由紀, 岩本里織, 草野恵美子

看護学生が学ぶ地域看護学とは 佐伯和子

看護師から見た地域看護学に必要な教育内容 山本真由子

看護師と保健師との協働を視野に入れた教育内容 村中峰子

専門学校で教える地域看護学の重要ポイント 熊野こう

統合カリキュラム専門学校の実践例(看護学生編) 池西静江

【連載】

「書く力」でステキな看護師をつくらう・2 三原祥子

PBL 再考——教員として体験したマクマスター大学における PBL・5 Mernagh 豊澤英子

九州・沖縄からの風 学生が綴る看護への想い・5 武藤里奈

実習の経験知 育ちの支援で師は育つ・9 新納美美

ナイチンゲール伝・11 茨木 保

学生の日 教員のまなざし・17 東京都立北多摩看護専門学校

Mail From USA ——『JNE』を読み、世界の看護教育の流れを知る・37 神谷英美子

編集後記

◎編集室ツイッター <http://twitter.com/KANGOKYOIKU>

●「厚生労働省看護研修研究センターが閉鎖されるとなったとき、看護界は一大事となって反対し阻止すべきだったのに、そのような気運は盛り上がりなかった。今本当に後悔している……」これは、あるベテラン看護教員の嘆きです。文字通りわが国の看護の研修と研究を担い、多くの優れた卒業生、修了者を出してきたセンターを失ったダメージは、じわじわと看護界に効いてくることでしょう。●とはいえ、センターがなくなっても、看護教員や幹部の教育が必要なくなるわけではありません。今回の特集では、福岡県で行われた教務主任養成講習会について詳しく語っていただきましたが、この内容を踏まえて、他の自治体でも教務主任養成に取り組む動きが生まれれば幸いです。看護教員の能力向上のため、ぜひとも今回は「気運を高めて」いただければと願っています。……大野

●平成23年度教務主任養成講習会では、「看護とは何か」「教育とは何か」から問い直し、考えを深め、言語化することが大切にされました。専任教員として経験を積まれている先生方も、これには苦労されたということです。●やはり「○○とは何か」は難問なのです。例えば、「雑誌とは?」「編集とは?」なんて急に問われたら、私は瞬間凍結されてしまいます。自身の経験や、それをどう意味づけてきたかという来歴のすべてを明らかにする威力がこの種の問いにはあって、だからこそ講習会でも多くの時間と労力をかけられたのでしょう。●そういえば、こんなことを言った人がいます(私の家族ではありません)。「幸福とは、大家族で、愛し合い、気遣い合い、緊密に結びついた家族が、それぞれ別の市に住んでいることだ」。こんな含蓄のあることを言えるようになってほしいものです。……加藤

看護教育 第53巻 第4号 2012年4月25日発行(毎月1回25日発行)

Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2012, Printed in Japan

1部定価 1,470円(本体1,400円+税5%) 2012年・年ぎめ予約購読料(増大号を含む12冊)

冊子のみ 16,250円, 冊子+電子版(個人) 19,250円, 冊子+電子版(共有) 21,700円, 電子版/個人 16,250円,

電子版/共有 18,800円(いずれも税込, 送料弊社負担)

発行: 株式会社医学書院 代表者: 金原 優 〒113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23 販売部 TEL: 03-3817-5657

『看護教育』編集室 TEL: 03-3817-5776 メールアドレス: kankyoku@igaku-shoin.co.jp 担当: 加藤・大野・早田

本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)医学書院が保有します。

本誌を無断で複製する行為(複写, スキャン, デジタルデータ化など)は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学, 病院, 診療所, 企業などにおいて, 業務上使用する目的(診療, 研究活動を含む)で上記の行為を行うことは, その使用範囲が内部的であっても, 私的使用には該当せず, 違法です。また私的使用に該当する場合であっても, 代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

JCOPY (社)出版者著作権管理機構委託出版物

本誌の無断複写は著作権法上の例外を除き禁じられています。複写される場合は, そのつと事前に, (株)出版者著作権管理機構(電話 03-3513-6969, FAX 03-3513-6979, info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。0047-1895/12/¥250/論文/JCOPYが本誌の頁表記に並んで記されているのは, 1論文1回複写につき250円を要することを明示したものです。表示のない論文などにも適用されます。JCOPY宛にご連絡いただく際には, 筆頭著者名・論文名と併せて本表示をご提示くださるようお願いいたします。

本誌「看護教育」では、みなさまの誌面へのご参加をお待ちしています。

(2011年3月1日改訂)

掲載欄

●**看護教育研究**：看護学教育についての研究で、独自の知見が認められる論文／●**実践報告**：看護学教育の実践に関する内容で、発表の意義が認められる論文／●**調査報告**：看護学教育についての調査で、発表の意義が認められる論文／●**短報**：報告に準じ、発表の意義が認められる論文(「目的」「方法」「結果」に構成を絞ることを原則とする)／●**スクランブルゾーン**：看護教育に関するご意見や情報交換の欄。上記4区分に該当しない、本誌内容へのご感想やエッセイです(本欄のみ研究論文としての形式は不要)。

ご投稿の前に

●未発表のものに限ります

国内・国外を問わず、他誌に掲載されたもの、掲載予定のもの、自らあるいは第三者のホームページに収載または収載予定のものはご遠慮ください。

●倫理的配慮について

十分な手続きと、必要場合は対象者の同意を得て執筆・投稿をお願いします。

●他論文からの引用・転載は必要最小限に

無断転載は固くお断り致します。必ず原著者の許諾を得てください。

●原則として返却しません

投稿原稿は、採否にかかわらず返却いたしません。

●掲載には査読審査(3か月程度目安)を要します

投稿原稿に対しては、採否にかかわらず原稿受領のご連絡を致します。お問い合わせの際は、受領連絡に記された受付番号をお申し出ください。

●論文の採否について

論文の採否は論文審査委員の査読を経て決定致します。審査の結果、原稿への加筆、修正をお願いすることがありますので、予めご了承ください。

●著作物について

本誌に掲載する著作物の複製権、上映権、公衆送信権、翻訳・翻案権、二次的著作物利用権、譲渡権等は医学書院に譲渡されたものとします。著作者ご自身のこれらの権利を拘束するものではありませんが、再利用される場合には事前に弊社までにご一報ください。

●掲載の場合には

掲載誌と規定の原稿料をお送りいたします。

執筆規定

●原稿表紙

希望する掲載欄を明記した上で、次の項目を漏れなく記載する。論文名、執筆者名(ふりがな)、所属機関、連絡先(複数で執筆した場合は代表者)の住所、氏名、電話番号、ファクシミリ、Eメールアドレス(推奨)。

●原稿分量

「看護教育研究」は8000字、「実践報告」「調査報告」「スクランブルゾーン」は6000字、「短報」は2400字を上限とする。図表等はこれに含む。※図表は、大小にかかわらず1枚400字相当として換算(引用文献も字数に含む)。

●本文

B5判あるいはA4判に横書きとする。

●図表・写真

図表・写真は本文には挿入・貼付せず、別紙(別ファイル)とする。引用・転載の場合は出典を明記する。挿入箇所は本文に明記する。

●引用・参考文献

本文中の該当箇所の右上に番号を付した上で、本文末尾にまとめて表記する。原則は下記の通り。

・書籍の場合

番号) 著者名：書名、発行所、開始ページ—終了ページ、発行年。

番号) 著者名(翻訳者名)：論文名、編者名：書名、発行所、開始ページ—終了ページ、発行年。

・雑誌の場合

番号) 著者名：論文名、雑誌名、巻(号)、開始ページ—終了ページ、発行年。

原稿送付先

●Eメールの場合(推奨)

メールのタイトルを「投稿論文」とし、原稿は添付ファイルとする(5MB以下)。メールの本文に連絡先を明記して、下記までご送信ください。

kankyou@igaku-shoin.co.jp

●郵送の場合

原稿プリントアウトにデータを保存したメディアを添付し、下記までご送付ください。

〒113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23

(株)医学書院看護出版部「看護教育」編集室

『看護教育』

バックナンバーのご案内

【月刊】1部定価1,470円(本体1,400円+税5%)
年間購読 好評受付中!
電子版もお選びいただけます。

Vol.53 No.3

2012年3月

特集

災害看護教育に生きたシミュレーションを 震災に焦点をあてて

東日本大震災の発生から間もなく1年が経過しようとしています。未曾有の地震と津波は、今なお被災地に爪痕を残し、原発事故の先行きも決して明るいものとは言えません。その他にも、火山の噴火、記録的な豪雨による洪水や土砂崩れ、大型台風の直撃など、さまざまな災害が間断なく日本を襲っています。

このような状況のなか、看護師の役割の一つとして災害時の対応がますます強く求められてきており、その実現のため災害看護教育への期待も大きくなっています。残念ながら、災害の発生を防ぐことはできません。しかし、日頃から災害に備えて訓練・準備をしておくことで被害を減らすことは可能です。そして、そのために大きな力を発揮するのが災害シミュレーションです。

本特集では、日本各地で行われている多種多様な災害シミュレーション教育のなかから、特に震災をテーマにした取り組みに注目し、その問題意識や実施方法についてご紹介いただきます。災害看護学の効果的な指導方法を広く共有することで、災害時に「実際に行動できる」看護師の育成に役立てていただければと思います。

contents

- 災害看護教育におけるシミュレーションの役割 山田百合子
- 災害シミュレーション演習
赤十字看護専門学校の取り組み 横田栄子
- 災害時救助・救護活動のための
机上シミュレーション 長家智子
- 被災体験シミュレーション
地域に根差した防災の担い手「防」zの取り組み 上田真仁・梅田見名子

第2特集

石巻赤十字看護専門学校の復興に向けて

- 被災後の学校運営と今後の課題 工藤三枝子
- 石巻赤十字看護専門学校復興支援要員派遣の実績と課題
..... 池田由美子・西田朋子
- コラム●復興支援要員としての石巻での活動 藤田美佐子
- コラム●石巻で臨地実習支援にあたって 池本義子



Vol.53 No.2

2012年2月

特集

私はこうして学生と向き合ってきた 日々出会うさまざまな悩み

カリキュラムの改正に伴い、刻々と指導内容が変化する看護教育の現場において、本誌読者のみなさんは、日頃からより良い教育を目指し、教授方法の改善に尽力されていることと思います。

そのような日々の取り組みのなかで、現代の若者特有の性質を持った学生との関わりに戸惑いを覚えることは少なくないのではないのでしょうか。「どうもやる気のない学生が多いように感じる」「学生とうまくコミュニケーションがとれない」「なぜ常識が通じないのか」「別の指導方法はないのだろうか」「他の専門学校・大学ではどう教えているのだろうか」、などといった悩みや疑問をおもちの先生方が大勢いらっしゃるかと推察します。

今回の特集では、よく耳にするこのような“お悩み”を、その場面や内容から(1)学内講義における教育・学習、(2)臨地実習における教育・学習、(3)学生の態度・志向性、と大きく3つに分類しました。多くの看護教員が悩んでいる問題を取り上げ、その解決へのヒントを共有していく場になりたいと考えています。同じ悩みを抱えた他の学校教員は、どのように学生と向き合っているのでしょうか。その工夫にふれ、今後の学生指導の参考にしていただければと思います。

contents

- 学内講義における教育・学習編
講義で想像を絶する学生の理解状況に遭遇したとき 高島尚美
学生がほとんど経験したことのない、しかし重要なこと(倫理観)を講義で教授したいとき 高島尚美
- 臨地実習における教育・学習編
学生が子どもとの関わりに悩むとき 永田真弓
専門学校1年生が患者とのコミュニケーションに戸惑うとき 荒谷美香
コミュニケーションの意味を理解させ スキルを身につけさせること 瀬山留加
複数のスタッフからの指導に学生が混乱してしまうとき 青木由美恵
学生が心理的に余裕をもてる環境を整えること 千田 操
- 学生の態度・志向性編
“ミレニアル世代”の学生を指導すること 村田洋章
学生の態度・社会性に課題があるとき 永田真弓
学生の研究がうまく進まないとき 村井文江
決定と責任を自ら考えるようにすること 樋之津淳子



【2012年1月号 (Vol.53 No.1)】

特集 **看護教育の現場に
プレゼンテーション力を活かす!**

【2011年12月号 (Vol.52 No.12)】

特集 **今、学生と共にいのちを考える**

【バックナンバーのご注文について】

■ vol.51 No.5 以降のご注文は、お近くの書店、または医学書院販売部にお申し込みください。

医学書院 販売部 TEL:03-3817-5659

■ vol.51 No.4 以前のものについてのご注文は、下記宛にお願いいたします。

(株)東亜ブック TEL(03) 3985-4701 FAX (03) 3985-4703

E-mail: st@toabook.com URL: http://www.toabook.com

●バックナンバーの詳しい目次は、小社WEBサイト <http://www.igaku-shoin.co.jp> でご覧ください。



医学書院

〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23

【販売部】TEL: 03-3817-5657 FAX: 03-3815-7804

E-mail: sd@igaku-shoin.co.jp <http://www.igaku-shoin.co.jp> 振替: 00170-9-96693

携帯サイトはこちら



消費税率変更の場合、上記定価は税率の差額分変更になります。